



輝く結城と
地域福祉の
充実を進めます

結城市社協だより

えがお

笑顔

2022年
10月15日号

発行 / 社会福祉法人 結城市社会福祉協議会 茨城県結城市結城1194 健康増進センター内
TEL (0296) 33-0225 FAX (0296) 33-1037 URL <http://www.yuki-shakyo.or.jp/>



令和4年度 赤い羽根共同募金運動が 始まりました!!

本年も、10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。運動開始PRとして、10月3日(月)、結城市共同募金委員会運営委員(社協理事)と事務局職員による街頭募金活動を市内スーパー5店舗において実施しました。

街頭募金では、夕方のお忙しい時間帯にも関わらず、活動場所を提供いただきました店舗の皆様、募金に協力いただきました市民の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。協力いただきました募金は、児童・青少年、高齢者、障がいのある方々のための福祉活動に役立てられます。



<街頭募金実績> 5店舗合計 31,355円

<街頭募金活動協力店舗>

結城ショッピングセンターうおとみ結城店様
カスミフードスクエア結城店様
とりせん結城店様
カインズホームスーパーセンター結城店様
ヨークベニマル結城四ツ京店様 【順不同】



<結城市における共同募金運動予定>

10月…赤い羽根共同募金 12月…歳末たすけあい募金

<災害義援金の受け入れ>

地震や風水害など国内で発生する大規模災害による被災者を支援するため「災害義援金」を募集します。本会に寄せられた義援金は、被災都道府県の「義援金配分委員会」(共同募金会・日本赤十字社・NHK・行政などで組織)で取りまとめ、現地の被災状況をもとに同委員会が公正に配分を行います。

<令和4年9月20日現在における受付中の災害義援金> ※名称中における義援金は省略

- 令和4年8月大雨福井県災害 (9/30まで)
- 令和4年8月山形県大雨災害 (12/28まで)
- 石川県8月大雨災害 (12/28まで)
- 令和4年8月大雨災害青森県 (12/28まで)
- 令和4年8月新潟県大雨災害 (令和5年 3/31まで)

この広報紙は、結城市民の皆様からお寄せいただきました社協会費や寄付金の一部を活用して発行しています。



生活支援体制整備事業

『地域福祉の担い手養成講座』



市まちづくり協働課主催のもと、市介護福祉課、3圏域の地域包括支援センター及び第2層協議体、本会が協働し、結城市の将来を担う人材として活動する人づくりのために、高校生、大学生、専門学校生を対象とした『地域福祉の担い手養成講座』を夏期間中に3回の連続講座として実施しました。

「生活支援体制整備事業の取組み」や「地域包括支援センターの機能」等について、第2層協議体メンバーや、地域包括支援センター職員等に聞き取り調査を行い、生徒や学生が感じた『地域福祉』について、スライドを作成し、昨年度の「地域福祉モデレーター養成講座」の受講者と交流を兼ねての発表会を行いました。参加した生徒や学生の皆さんにとって人のつながりの大切さを学んでもらう貴重な学びと経験を得られたのではないかと思います。



「結城の地域福祉」について、生徒や学生が自分達の手でインタビューを行い情報を収集。



集めた情報をもとに地域福祉についてグループ毎にスライドを作成。

作成したスライドを使って発表と交流を実施。

『社会福祉士』になるための実習として、国際医療福祉大学より2名の実習生を受け入れました。



障害者福祉センターで実習中の
国際医療福祉大学3年生 野呂瀬 優花さん
(写真右上)



障害者福祉センターで実習中の
国際医療福祉大学3年生 宮田 冴香さん
(写真左側)

実習を終えた感想を紹介します。

※原文のまま掲載

野呂瀬さん

結城市社会福祉協議会で24日間、実習をさせていただきました。職員の方々から事業の説明を伺うだけでなく、事業の実施場面や利用者様宅への訪問、会議の場面に同行させていただき、障害者福祉センターでの実習も行わせていただきました。大学で学んだことへの理解を深めると共に、大学の講義だけでは学ぶことのできない実際の現場の様子や利用者様との交流も経験することができました。

今回の実習を通して学んだことを生かし、今後の学習に励んでいきたいと思っています。

宮田さん

結城市社会福祉協議会で24日間、実習させていただきました。職員の方々から社会福祉協議会で行っている事業の説明を伺い、様々な事業に参加、同行させていただきました。結城市障害者福祉センターでも実習を行わせていただき、利用者さんと楽しくコミュニケーションをとることができました。実際の現場に同行することで、大学の講義で学んだことの理解がより深まりました。

社会福祉協議会での実習で学んだことを生かし、今後、勉学に励んでいきたいと考えております。

※ 🍂 ※ 🍂 ※ 🍂 ※ 🍂 ストックヤード事業 ※ 🍂 ※ 🍂 ※ 🍂 ※ 🍂

災害時のボランティア活動の際に『資機材提供』という方法でご協力いただく新たな取り組みです。

災害ボランティア活動には災害種別や被災状況により、様々な道具が必要になり、特に、近年の大規模災害では、大量の道具も必要になります。しかし、必要な資機材の調達が困難になることがあり得ることから、市民や企業、法人の皆様へ災害ボランティア活動に必要な『道具(資機材)』を無償で提供いただき、必要な支援を止めることなく続けることを目指します。

令和4年7月6日(水)に野木町社会福祉協議会において、野木町、古河市、小山市、結城市の4市町村合同で事業開始に向けた打合せを実施しました。今後、事業内容や事業開始時期等の詳細が決まり次第、ホームページや本誌などでお知らせします。



第61回 茨城県老人クラブ大会

ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県民文化センター）

令和4年9月21日（水）に、第61回茨城県老人クラブ大会がザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県民文化センター）において開催されました。結城市老人クラブ連合会から、長年の功績により竹澤郁夫様（西町永正会）、山室イツ子様（川木谷わくわくクラブ）のお二人が表彰を受けられました。おめでとうございます。



～お知らせ～

●高齢者向け法律相談（高齢者地域支援体制整備事業）

※全予約制 ※秘密は厳守します

【問合せ】結城市社会福祉協議会 ☎0296-33-0225

| 相談員 | 開催日・場所等 |
|-----|---|
| 弁護士 | ・毎月第2・4金曜日 ・相談時間 1人30分 ・場所 結城市健康増進センター内 本会相談室 |



※この法律相談は、高齢者(65歳以上)市民優先ですが、相談開催日の1週間前に空きがある場合は、65歳未満の市民のご相談も受け付けます。

※新型コロナウイルス感染予防・拡大防止の観点から中止となる場合があります。

マイクロバス運行事業

予約、利用の受付をしています。

※現在、利用人数の制限を解除していますので、乗車定員26名まで利用可能です。

※新型コロナウイルス感染予防・拡大防止の観点から、運行が中止となる場合がありますので、ホームページの確認をお願いします。

※利用対象は、本会に登録している老人クラブ、ボランティア団体等になります。



Lily project りりいプロジェクト



【詳しくはこちら!】

『りりいプロジェクト』は、女性を応援するプロジェクトです。

生理用品を無償で配布します

生理用品を購入することが難しい方へ結城市社会福祉協議会が生理用品を無償で配布しています。

※対象者は市内に通勤、通学をしている方又は結城市民の方が対象です。

【問い合わせ先】結城市社会福祉協議会 電話 0296-33-0225



● 手続き不要

「りりいプロジェクト」と言っていただくか、上記のイラストを提示するだけです。